ｅ－普及だより　　　　　　　　　　　第４５号（通算６７６号）

平成２０年１月
編集・発行　農林水産省経営局普及・女性課

☆★☆★◇★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

ᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕ

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。もし、まわりに登録されていない方がいましたら、ぜひ登録をお勧めください。

登録先は、http://www.maff.go.jp/mail/index.htmlをご覧ください。

ᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕ

【本号の主な内容】

☆普及・女性課からのお知らせ☆
・平成２０年度農業者大学校３月期入学試験のご案内
◇生産局生産技術課からのお知らせ◇
・ＧＡＰ手法導入マニュアルの公表について
・全国地産地消推進フォーラム２００８」の開催について
◆技術会議事務局からのお知らせ◆
・国産大豆フォーラムの開催について
∮編集後記♪

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

☆普及・女性課からのお知らせ☆

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【平成２０年度農業者大学校３月期入学試験のご案内】

本年４月に茨城県つくば市に移転し、２年制の新課程による教育を開始する農業者大学校では、現在、平成２０年度入学生について若干名の「３月期募集」を行っています。

募集対象者、試験の内容等は、既に実施した前期試験・後期試験と同様です。出願締切は３月５日（水）、試験日は３月１１日(火)、試験会場は農業者大学校（東京都多摩市）と近畿農政局（京都市）の２か所で行います。

３月期入学試験においても推薦制度を設けており、都道府県知事推薦の出願先は地域の普及指導センターとなっております（知事推薦の出願期間は１月１８日～２月１３日（水）としております）。

普及指導センター、普及指導員の皆さんには、引き続きご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

地域に、農業をやりたい方、実践的な農業経営者教育を受けたい方など、入学にふさわしい方がいらっしゃいましたら、是非、農業者大学校をご紹介ください。

３月期入学試験の詳細については、農業者大学校ホームページ
http://farmers-ac.naro.affrc.go.jp/をご覧ください。

入学試験要項、募集ポスターなども、ホームページの「資料請求」のページ
http://farmers-ac.naro.affrc.go.jp/document.html
からダウンロードしてお使いいただけます。

〇お問い合わせ先
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構　農業者大学校　体制準備室
電話　０４２－３７５－８５１１
FAX　０４２－３７４－０６１５
Eメール　noshadai@naro.affrc.go.jp

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

◇◆◇生産局生産技術課からのお知らせ◇◆◇

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「ＧＡＰ手法導入マニュアルの公表について」

ＧＡＰ手法（農業生産工程管理手法：Good Agricultural Practice）とは、農業者自らが、⑴農作業の点検項目を決定し、⑵点検項目に従い農作業を

行い、記録し、(3)記録を点検・評価し、改善点を見出し、(4)次回の作付けに活用するという一連の「農業生産工程の管理手法」（プロセスチェック手法）のことです。
　ＧＡＰ手法は、農産物の安全確保のみならず、環境保全、農産物の品質の向上、労働安全の確保等に有効な手法であり、このような生産工程の管理手法を我が国の多くの産地・農業者が取り入れ、自らの営農・生産条件や実力に応じて取り組むことが、安全な農産物の安定的な供給、環境保全、農業経営の改善・効率化の実現につながるものです。また、生産された農産物の安全性や品質の確保等について消費者・食品事業者等の信頼を確保する上でも有効な手法となると考えられます。
　農林水産省では、米、麦、大豆、施設野菜、路地野菜、果樹、花きのそれぞれの生産に合わせた基本となるＧＡＰ様式を「基礎ＧＡＰ」として作成・公表し、ＧＡＰ手法を農業者の方々が導入し、自らの農業経営に役立てていただくように普及・啓発を図っているところです。
　このたび（平成２０年１月２５日）、産地においてＧＡＰ手法に取り組む際の参考となるよう、基礎ＧＡＰを中心として、ＧＡＰ手法の考え方、導入効果、導入手順等をまとめた「ＧＡＰ手法導入マニュアル」を作成・公表しましたので、ＧＡＰ手法を全国の各産地で導入される際に活用していただくようお願いします。

ＧＡＰ手法導入マニュアル公表ページ
http://www.maff.go.jp/syohi_anzen/gap/page2.htm

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－
「全国地産地消推進フォーラム２００８」の開催について
－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

　地産地消優良活動表彰やその活動発表等を通して、地産地消の推進方法、展開方法等についての意見交換を行う「全国地産地消推進フォーラム２００８」を全国地産地消推進協議会の主催により下記のとおり開催いたします。
　また、翌日２９日に地産地消優良事例表彰者との意見交換等を行う地産地消の勉強会を開催します。
　双方ともご参加いただくためには、事前の申し込みが必要となります。
　フォーラム当日は地産地消の推進に関係する資料やパネル展示を行います。資料提供等ご希望のある方は下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

　○全国地産地消推進フォーラム２００８
　１　開催日時：平成２０年２月２８日（木）　１３：００～１７：００
　２　会場：農林水産省７階講堂（東京都千代田区霞が関１－２－１）
　３　参加申込先：全国地産地消推進協議会
　　事務局　財団法人日本特産農産物協会

　○地産地消活動勉強会
　１　開催日時：平成２０年２月２９日（金）　９：３０～１２：３０
　２　会場：農林水産省　会議室
　３　参加申込先：全国地産地消推進協議会
　　事務局　財団法人日本特産農産物協会

　○開催案内の情報掲載先ＵＲＬ（２月上旬予定）
　　http://www.maff.go.jp/j/press/index.html

【問い合わせ先】
農林水産省生産局生産技術課
　担当：渡邊、大江
　代表：03-3502-8111（内線　４７２８）
　直通：03-6744-2435

【参加申込先】
全国地産地消推進協議会　事務局　財団法人日本特産農産物協会
　担当：鈴木、中村
　電話：03-3584-6845
　FAX　：03-3584-1757

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

◇◆◇技術会議事務局からのお知らせ◇◆◇

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「国産大豆フォーラムの開催について」

　水田・畑作経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策）の着実な推進に向け、大豆についても、さらに品質の良いものの生産を振興していく必要があります。

　国産大豆は主に豆腐に使われていますが、その「おいしさ」についてはよく分かっていませんでした。このフォーラムでは、国の委託プロジェクト研究により分かったきた豆腐の風味、硬さと大豆の関係等について分かりやすく紹介します。
　普及指導員の皆様におかれましても積極的なご参加をお願いいたします。

日時：平成２０年２月２９日（金）　１３：００～１６：３０
場所：JAホール
主催：（独）農業・食品産業技術総合研究機構

http://nics.naro.affrc.go.jp/event/daizu-f/daizu-f2008.html

＊＊＊※＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

§・編集後記・♪

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＃＊

　昨年は様々な偽装問題が起こりましたが、今年も年明けからそれらに関する報道が続いています。
　職場で使用する紙も再生紙の問題の影響を受けていますが、どうも本来の目的を見失っているように思います。
　再生紙に限らず、エコロジーだと言われる製品に共通することだと思いますが、再生利用の割合毎にどのような品質の物ができて、製造や流通などトータルでそれぞれどれほどのエネルギー・コストが必要で環境負荷があるかなどの情報を提供して消費者が選択する、また、それらを総合的に判断し、最も環境への負荷が少ない物を推奨する、そのような仕組みを作ることが重要ではないかと思います。個人的には昔よく見た藁半紙のようなものでも用途によっては構わないと思います。
　ともかく、私も紙を大量に使う職場にいるので、できるだけ無駄にしないようにしたいと思います。

　今号でも大豆に関するフォーラムの案内が掲載されていますが、先日味噌を作りました。大豆をゆで、つぶし、米麹と塩を混ぜて仕込みました。なかなかおもしろい作業です。同じ材料で作っても家毎に色や味も違ってくるそうです。
　半年後が楽しみです。自分の手で作れば手前味噌になるのも無理はないでしょう。

　今年もｅー普及だよりをよろしくお願いいたします。

＠　　編集委員Ｕ　　㊥
－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－→

　このメールマガジンに関するご意見・ご要望などがございましたら、下記までご連絡願います。

・ＴＥＬ：０３－３５０１－３７６９

・農林水産省ご意見・お問い合わせ窓口：
https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM_NO=4

　バックナンバーは、普及事業ホームページ
http://www.maff.go.jp/soshiki/nousan/fukyuuka/newsite/e-bn.htm
から閲覧できます。

　配信先の変更、配信停止等につきましては、農林水産省のホームページから手続きをお願いいたします。
　農林水産省ホームページ→報道・広報→メールマガジン→配信変更・配信解除（パスワードが不明な場合はパスワード再発行）へ進んで手続きをお願いいたします。　http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－
＊＊＊　ご注意　＊＊＊

　メールマガジンに記載したＵＲＬで、一部ＰＤＦ形式のものがあります。
　ＰＤＦファイルをご覧頂くためには、農林水産省ホームページにある「Ｇｅｔ　Ａｃｒｏｂａｔ　Ｒｅａｄｅｒ」のボタンでＡｃｒｏｂａｔ　Ｒｅａｄｅｒをダウンロードしてください。
－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－→